

公立小松大学生産システム科学部規程

平成 30 年 4 月 1 日

規程第 22 号

(目的)

第 1 条 この規程は、公立小松大学生産システム科学部（以下、「本学部」という。）に関する事項について定めることを目的とする。

(学科)

第 2 条 本学部に、生産システム科学科を置く。

(コース配属)

第 3 条 生産システム科学科に、次に掲げるコースを置く。

- (1) 生産機械コース
- (2) 知能機械コース

(コース配属)

第 4 条 学生のコース配属は、2 年の前期終了時に行う。

- 2 コースへの配属は、学生の志望動機や適性を考慮して決定する。ただし、一方のコースに著しく人数が偏った場合は、本人の学業成績等により履修指導を行い、調整を行うことができる。
- 3 コース配属の手続き等は、別に定める。

(教育研究上の目的)

第 5 条 学科における教育研究上の目的は次のとおりとする。

生産システム科学科

地域社会の様々なニーズに応えながらも、循環型社会実現のための生産システム構築を目指す技術者の育成と、関連分野で世界をリードする研究開発を行う。

(ディプロマ・ポリシー)

第 6 条 学科及び各コースに係る卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）は、次のとおりとする。

生産システム科学科

地方と世界の持続可能な社会システム実現のため、以下の項目に挙げる学科共通及び各コースで教授する個別の専門能力を身につけた者を、環境と社会に調和する生産システムを構築できる人材とみなし、学士（工学）を授与する。

- (1) 幅広い分野の教養を身につけるとともに、工学や科学の基礎として重要な数学・物理学についての基礎的能力を有する。
- (2) ものづくり産業技術の基盤となる機械工学、電気・電子工学、情報工学の基礎的及び専門的な知識を修得している。
- (3) 専門分野の技能を身に付け、修得した知識・技能を組み合わせ実践的に課題

の解決に取り組むことができる。

- (4) 生産システムが果たす役割・使命を理解し、高い倫理観を備え、自然及び社会と共生するための仕組み構築に向けた知識を修得している。
- (5) 研究を推進するための、自主性、協調性、思考力、文章作成能力、発表・報告能力および国際的コミュニケーション能力を身につけている。

生産機械コース

機械工学、電気・電子工学、情報工学の基礎を身に付け、環境にやさしい生産システムを実現するための科学的思考力と基礎的実践能力を修得している。

知能機械コース

機械工学、電気・電子工学、情報工学の基礎を身に付け、高度情報化社会に適応した生産システムを実現するための科学的思考力と基礎的実践能力を修得している。

(授業科目及び単位数等)

第7条 公立小松大学履修規程（平成30年規程第21号）第2条に規定する授業科目の区分のほか、コースごとに定める必修科目（コース必修科目）及び選択必修科目に分ける。

- 2 生産システム科学科の授業科目、単位数等及びその他の履修に係る事項は、別表第1、別表第2及び別表第3のとおりとする。
- 3 生産システム科学科の履修科目の登録の上限は、各学期26単位とする。ただし、この上限を超えて履修を希望する学生がいた場合は、その者の前年のGPA閾値が2.5以上であることを条件として、学部長が教授会に意見を聴き、特に認めた場合に限り、上限を超えて履修することができるものとする。

(授業科目の公示)

第8条 毎学期の授業科目及び担当教員は、学期の始めに公示する。

(コース配属条件)

第9条 第3条に規定するコースの配属条件として、別表第1の科目区分ごとに定める修得すべき単位数を満たす共通教育科目37単位以上、別表第2の専門基礎科目16単位、別表第3の専門選択科目2科目4単位以上を含む合計61単位以上を修得しなければならない。ただし、2年後期以降に配当された科目の単位はこれに含めない。

- 2 前項の規定にかかわらず、2年前期終了時において単位認定を保留され、半年以内に、当該授業科目の単位認定を受けることが見込まれる者は、学部長は教授会の議を経てコースに配属させることができる。
- 3 前項に規定する者が、半年以内に当該授業科目の単位認定を受けられなかった場合は、学部長はコースの配属を取り消すことができる。
- 4 コースに配属されていない者は、2年後期までに配当されている科目しか履修できない。ただし、学部長が特別の理由があると認める場合は、教授会の議を経て履修を認めることができる。

(卒業研究および課題研究ゼミナールの履修条件)

第10条 別表第3の卒業研究および課題研究ゼミナールの履修条件として、別表第1の科目区分ごとに定める修得すべき単位数を満たす共通教育科目37単位以上、別表第2の専門基礎科目20単位、別表第3の専門共通科目25単位以上、専門選択科目30単位以上(コース必修科目8単位、選択科目22単位以上)を含む合計112単位以上を修得しなければならない。ただし、4年前期以降に配当された科目の単位はこれに含めない。

(卒業条件)

第11条 学生は、4年(学則第20条から第22条までの規定により入学した学生又は第33条第1項の規定により転学部若しくは転学科した学生にあつては、それぞれ第23条又は第33条第2項の規定により定められた在学すべき年数)以上在学し、別表第4に定める卒業に必要な単位を修得しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、再入学をした者、転入学をした者、編入学をした者及び転学部をした者については、別に定める。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。

2 令和4年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則

1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。

2 令和5年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。ただし、別に定める細則により、改訂科目の履修を以て従前の科目を履修したものとすることができる。

附 則

1 この規程は、令和6年4月1日から施行する。

2 令和6年3月31日に在籍する者については、なお従前の例による。ただし、別に定める細則により、改訂科目の履修を以て従前の科目を履修したものとすることができる。

別表第1（第6条関係）
 共通教育科目の授業科目及び単位数等

科目区分	授業科目の名称	配当年次	区分	単位数	修得すべき単位数
導入科目	キャリアデザイン・チーム論	1 前	必修	1	必修のすべて8単位を修得すること。
	アカデミック・スキルズ	1 前	必修	1	
	基礎ゼミ	1 後	必修	2	
	情報処理基礎	1 前	必修	2	
	南加賀の歴史と文化	1 後	必修	2	
一般科目（人間力）	哲学	1 前	選択	2	選択から6単位以上を修得すること。
	心理学	1 前	選択	2	
	人間の発達と心	1 前	選択	2	
	日本の伝統芸能	1 前	選択	2	
	人文地理学	1 後	選択	2	
	文化人類学	1 後	選択	2	
	医療と文化	1 後	選択	2	
	文章表現法	1 後	選択	2	
一般科目（社会力）	日本産業史	1 前	選択	2	選択から6単位以上を修得すること。
	自然資源と環境問題	1 前	選択	2	
	経済学	1 前	選択	2	
	政治学	1 後	選択	2	
	社会学	1 後	選択	2	
	公共政策論	1 後	選択	2	
	社会福祉論	1 後	選択	2	
一般科目（科学力）	データ科学と社会	1 後	選択	2	選択から4単位以上を修得すること。
	情報処理応用A	1 後	選択	2	
	情報処理応用B	1 後	選択	2	
	クリティカルシンキング	1 後	選択	2	
	統計学	1 後	選択	2	
	現代科学技術論	1 前	選択	2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	区分	単位数	修得すべき単位数
(健康と体力) 一般科目	健康と体の科学	1 前	選択	2	選択から1単位以上を修得すること。
	スポーツ演習 (バレーボール)	1 前・後	選択	1	
	スポーツ演習 (硬式テニス)	1 前	選択	1	
	スポーツ演習 (フットサル)	1 前・後	選択	1	
	スポーツ演習 (卓球)	1 後	選択	1	
	スポーツ演習 (バドミントン)	1 前・後	選択	1	
英語科目	英語 I a	1 前	必修	2	必修のすべて8単位を修得すること。
	英語 I b	1 前	必修	2	
	英語 II a	1 後	必修	2	
	英語 II b	1 後	必修	2	
	英語 III	1 後	選択	2	
	英会話 I	1 後	選択	2	
	英会話 II	1 後	選択	2	
	実用英語 A	1 前	選択	2	
その他外国語科目	中国語 I	1 前	選択	2	—
	中国語 II	1 後	選択	2	
	韓国語 I	1 前	選択	2	
	韓国語 II	1 後	選択	2	
	フランス語 I	1 前	選択	2	
	フランス語 II	1 後	選択	2	
	ドイツ語 I	1 前	選択	2	
	ドイツ語 II	1 後	選択	2	
	ロシア語 I	1 前	選択	2	
	ロシア語 II	1 後	選択	2	
	スペイン語 I	1 前	選択	2	
	スペイン語 II	1 後	選択	2	

注：本表の修得すべき単位数に記載された単位のほかに、4単位以上を修得すること。

別表第2（第6条関係）
 専門基礎科目の授業科目及び単位数等

科目区分	授業科目の名称	配当年次	区分	単位数	修得すべき単位数
専門基礎科目	基礎数学A	1 前	必修	2	必修のすべて20単位を修得すること。
	基礎数学B	1 前	必修	2	
	応用物理学	1 前	必修	2	
	工業力学	1 後	必修	2	
	プログラミング I	1 後	必修	2	
	材料力学及び演習	2 前	必修	2	
	工業熱力学及び演習	2 前	必修	2	
	流れ学及び演習	2 後	必修	2	
	電気回路及び演習	2 前	必修	2	
	振動工学及び演習	2 後	必修	2	

別表第3（第6条関係）
専門科目の授業科目及び単位数等

科目区分	授業科目の名称	配当年次	生産機械 コース区分	知能機械 コース区分	単位数
専門 共通 科目	数値解析	3 後	必修	必修	2
	技術英語 I	2 後	必修	必修	2
	技術者倫理	2 後	必修	必修	2
	機械設計製図 I	2 後	必修	必修	2
	機械要素設計	2 後	必修	必修	2
	生産加工学	3 前	必修	必修	2
	技術英語 II	3 前	必修	必修	2
	機械工作実習	3 前	必修	必修	1
	機械電気工学実験 I	3 前	必修	必修	1
	電気制御工学	3 前	必修	必修	2
	生産技術	3 後	必修	必修	2
	課題探求プロジェクト	3 後	必修	必修	1
	技術英語 III	3 後	必修	必修	2
	機械電気工学実験 II	3 後	必修	必修	1
	学外技術体験実習 A	3 前・後	選択必修	選択必修	1
	学外技術体験実習 B	3 前・後	選択必修	選択必修	2
	課題研究ゼミナール	4 前	必修	必修	1
	技術英語演習 II	4 前	必修	必修	1
	卒業研究	4 通	必修	必修	8
	専門 選択 科目	応用数学	1 後	選択	選択
工業数学A		1 後	選択	選択	2
工業数学B		2 前	選択	選択	2
化学入門		1 前	選択	選択	2
統計・確率論		2 前	選択	選択	2
エレクトロニクス概論		2 前	選択	選択	2
プログラミング II		2 前	選択	選択	2
機械加工学		2 後	コース必修	選択	2
機械材料学		2 後	選択	選択	2
エネルギー資源と開発		3 後	選択	選択	2
情報科学 II		3 後	選択	選択	2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	生産機械コース区分	知能機械コース区分	単位数
専門選択科目	応用電磁気学	2 後	選択	選択	2
	環境適合技術論	3 前	コース必修	選択	2
	電子回路	3 前	選択	選択	2
	情報科学 I	2 後	選択	コース必修	2
	計算機科学	3 前	選択	コース必修	2
	機械設計製図 II	3 前	コース必修	選択	2
	ロボット機構学	3 後	選択	選択	2
	資源有効利用学	3 後	選択	選択	2
	人工知能 I	3 前	選択	コース必修	2
	電気機器工学	3 後	選択	選択	2
	人工知能 II	3 後	選択	選択	2
	データマイニング	3 後	選択	選択	2
	地球環境と環境流体	3 前	コース必修	選択	2
	センサと通信	3 後	選択	コース必修	2
	インテリジェント生産システム	4 前	選択	選択	2

修得すべき単位数

(1) 生産機械コース 専門科目67単位以上を修得すること。ただし、専門共通科目は必修のすべて34単位及び選択必修1単位以上を修得し、専門選択科目はコース必修科目のすべて8単位及び選択から24単位以上を修得すること。

(2) 知能機械コース 専門科目67単位以上を修得すること。ただし、専門共通科目は必修のすべて34単位及び選択必修1単位以上を修得し、専門選択科目はコース必修科目のすべて8単位及び選択から24単位以上を修得すること。

別表第4（第9条関係）
卒業に必要な要件

学科	単位数	単位修得に関する要件
生産システム 科学科	124 単位 以上	別表第1に定める共通教育科目37単位以上、別表第2に定める専門基礎科目20単位及び別表第3に定める専門科目67単位以上を含む、合計124単位以上を修得しなければならない。ただし、共通教育科目については、別表第1の科目区分ごとに定める修得すべき単位数を修得しなければならない。また、生産機械コースでは、別表第3の必修科目の単位すべてと選択必修科目から1単位以上及び生産機械コース必修科目のすべてを修得しなければならない。知能機械コースでは、別表第3の必修科目の単位すべてと選択必修科目から1単位以上及び知能機械コース必修科目のすべてを修得しなければならない。